国営水橋マガジン

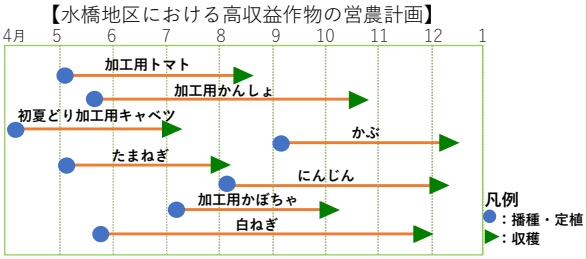
国営農地再編整備事業「水橋地区」の情報発信

令和８年
秋 号
（No.14）
R８.10.26
発行

高収益作物の収穫続々と

水橋地区では、国営事業により整備されたほ場を活用し、高収益作物の導入を進めています。７月にはたまねぎ、８月には加工用トマトが収穫を迎えました。秋冬には、加工用かんしょや加工用かぼちゃ、白ねぎの収穫が見込まれています。こうした取組により、水橋地区では高収益作物の産地化が着実に広がっています。

【水橋地区における高収益作物の営農計画】




たまねぎ収穫



加工用トマト収穫

【栽培中の他の高収益作物】


加工用かぼちゃ


白ねぎ

色々な品目に
取り組んでいます！

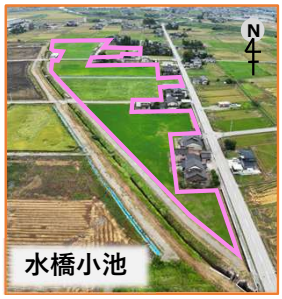


令和８年度工事進行中



下条上市団地（水橋小出、水橋小池、上市町石仏）及び上条団地（水橋曲淵）において、区画整理や用排水路、農道の整備を順次進めています。各工区とも工事は概ね順調に進んでおり、一部では表土の敷き均しや基盤整形も進められるなど、完成後のほ場の姿が少しずつ見え始めています。引き続き、年度内完成に向けて工事を進めていきます。


水橋小出


水橋小池


上市町石仏


水橋曲淵

スマート農業・次世代農業推進セミナー開催





農業用水の水管理の省力化・自動化をテーマとして８月24日に水橋地区で開催されました。

参加者は、既設の水門に後付けできる水門制御装置を使い、スマートフォンで水門の開閉や水位の確認を行い、スマート技術による水管理の省力化を体験しました。

インターンシップの受け入れ





大学生のインターンシップを８～９月に受け入れ、水橋地区を案内しました。

区画整理工事やターン農道、地下灌漑システム等を説明するとともに、整備されたほ場でのにんじんやトマトの生育、収穫状況を視察し、基盤整備と営農を一体として進める水橋地区の取組について理解してもらいました。

水橋地区からの声

水橋地区の将来を担う方や整備に関わる方へのインタビューをお届けするコーナーです。

今回お話を伺ったのは
(農)ひまわり営農組合
野澤康浩 代表理事



出身
水橋下砂子坂

経歴
建設業→現在

趣味
BBQ



耕作エリア
下砂子坂、上砂子坂、下砂子坂新、専光寺、市江

経営面積
75ha
水稲、白ねぎ



Q1 .本事業への思いを教えてください。

A1 . 今は小区画ほ場が多く、作業や管理に手間がかかります。作業効率や生産性の向上、草刈り等の維持管理が容易になる1ha規模の大区画ほ場と安定した営農基盤の整備に期待しています。

Q2 .力を入れている取組みについて教えてください。

A2 . 今は秋冬ねぎ栽培に力を入れています。まずは1ha規模での安定した収量の確保が目標です。より良いねぎ栽培を目指して試行錯誤しています。夏ねぎ栽培にも関心はありますが、まずは秋冬ねぎの栽培技術の向上に取り組んでいきたいと考えています。

10月以降の主な行事

11月11日	農地の維持管理に関する研修会（水橋狐塚地内）
11月24日	令和８年度 第２回 営農推進ワーキングチーム（富山総合庁舎）
11月27日・12月７日	地域営農ワークショップ（水橋ふるさと会館　相山ホール）

富山県　富山農林振興センター
指導課国営事業推進班
（☎ 076－444－4486）

↓バックナンバーもチェック！